

支部活動初の講演会

米沢支部の講演活動としては、初の事業として、平成19年9月8日(土)東京第一ホテル米沢で開催された。

講師は日本政策投資銀行東北支店長の渡部速夫氏。「東北経済の活性化施策」と題し、聴講者80名であった。講演終了後は講師を囲んで、いも煮会を開催した。なお、講演会に先立って新理事、評議員の合同会議を開催、今年度から総務部、産業部が新設され、5部会の構成員と事業活動が承認された。

講師は日本政策投資銀行東北支店長の渡部速夫氏。「東北経済の活性化施策」と題し、聴講者80名であった。講演終了後は講師を囲んで、いも煮会を開催した。なお、講演会に先立って新理事、評議員の合同会議を開催、今年度から総務部、産業部が新設され、5部会の構成員と事業活動が承認された。

この三つの事業を軸に行政主導ではやり得ない、俊敏かつ柔軟な対処をし、イベントに終わらせず、町内外に波及する、楽しい【経済効果がある】街づくりへの関わりや商店街見学など、授業にも取り入れてもらい、子供の目線から見た「桐町」にして行き、米沢の情報発信基地「桐町」になつて行きたいと思います。

最後に、私たちの目指すマチは街では無く、居住をしながら商いの出来る「町」にこだわりたいと思います。

今後とも、「ドラマチック戎市」に、ご理解とご協力のほどお願い致します。

米沢有為会
米沢支部だより

第 16 号

平成20年2月1日

発行者

社米沢有為会米沢支部

支部長 安部三十郎

米沢市金池5-2-25

☎ 0238-22-5111



さあ！桐町復活へ!!『Z隊』出動

プロジェクトZ隊隊長 加地 浩昭

「あら町を昔の様に復活させつべ」今から五年前の事でした。それでも、さまざまな町づくりの会議、セミナー、視察に参加させて頂きましたが、成功事例を見ますと、町並みや町の規模そして町を取り巻く環境（国道二八七）などの違いで、桐町を復活・再生させるにはハードの整備しかないのか…?と思つておりました。しかしハード整備には莫大な資金が必要で、それ以上に整備中の客離れが懸念されます。そこで、有志三人で、町づくり「プロジェクトZ隊」を結成し、出来ることからやるうと言う事で、今の町並みを生かして出来る事、①戎市の再現②統一暖簾③歩道の整備の三点に絞り、企画・立案・コンセンサス・資金調達、そして桐町再生の実現へと前進する事にしました。

①は商店街に面する国道並びに市道を約五〇〇m通行止めにし、1坪テントを一〇〇張り出店し、大テント市を開催し昭和の賑わいを取り戻す事業で、町内外のコンセンサス（合意）と警察との折衝が大変でした。しかし粘り強く協議を続けるうち、県警からの規制緩和の話があり、二〇〇四年九・十月二回のブレ開催を経て二〇〇五年五月から十一月まで合計七回二〇〇六年は年五回、そして今年も五、六、九、十、十一月の年五回を開催できる運びとなりました。

②も各商店をイメージしてもらえるイラスト入りのオレンジのれんを作り、戎市開催一週間前に掲げて、週末（日）には「戎市」開催のサインに定着しました。③は十数年、フランボットで花いっぱい運動をやって来ましたが、上杉鷹山公が奨励した『ウコギ』を点在させ、米沢らしさを出しながら景観アップを図りました。

一昨年あたりから、市内外の幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、そして一般のサークルの方々の発表の場としてのイベント参加が多くなり、集客数も一段と厚みを増し、市民参加型が色濃くなりました。

また、地元、北部小学校では、さまざま学年に応じ、町づくりへの関わりや商店街見学など、授業にも取り入れてもらい、子供の目線から見た「桐町」にして行き、米沢の情報発信基地「桐町」になつて行きたいと思います。

最後に、私たちの目指すマチは街では無く、居住をしながら商いの出来る「町」にこだわりたいと思います。

今後とも、「ドラマチック戎市」に、ご理解とご協力のほどお願い致します。

米沢有為会米沢支部だより

加近 安野 情 今岡 板江 戸遠 酒情
藤 藤田 本野 田部 垣川 田藤 井野
喜芳道 恒 正栄 敏信 売工
門信隆 弘正夫 仁明助 男幸仁治

柴淀 阿渋 庄齋 青工 井佐片 鉄廣
田川 部谷 司藤木 藤上 藤倉 居
正泰由 貞芳 忠敏亮 京信敬
孝正勝 雄彦 男美介 七子輔 夫

加川 小近 菅小細 本奥高 小海高
藤島澤 藤野林 谷間村 橋杉
義良淳 洋智秀 正美政文 義
彦範一 介幸一 弘智秋 昭基悟和

永山宮吉 豊進 清木 加遠市 横高 小久保
井田内 海嶋 藤田村 藤藤村 山橋
泰 良和 和俊敏忠 隆勇東創広
敬称略 廣尚二夫 弘彦子 三誠敏一士造信

～活躍する会員紹介～④

(社)米沢有為会は二年後に創設二二〇周年を迎えます。これを契機に会員倍増キャンペーんを実施します。会員みんなが一人一名ずつの会員募集に協力くださるようお願いいたします。

現在、会員は全国で一二〇〇名ほどで、米沢支部会員は五八一名です。本会の継続を図るには常時、会員の勧誘が欠かせません。支部活動も、情報提供や会員相互交流を図

会員倍増キャンペーん

るなど、新たな視点から充実を図っています。

ご存知のように、本会は郷

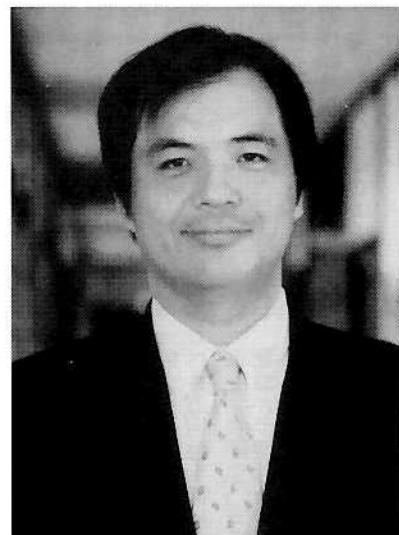
土米沢地方から国家社会に有為な人材を育てる会として創設されました。奨学金貸与事業や興譲館寮を東京、仙台等に設置して青少年の健全育成を図り、現在は東京、仙台で興譲館寮を運営、平成四年には民法学者我妻榮先生の生家を記念館として管理運営しています。

会員の皆さんには、歴史と伝統ある本会の人材育成事業を誇りどし、今後も継続されるよう一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

普通会員	年額 三,000円
賛助会員	年額 一〇,000円
特別会員	年額 三,000円
米沢支部役員一同	

遠 藤

英



直江兼続の素顔 著者 遠藤 英

「天地人が2009年NHK大河ドラマに決定を見た今、米沢はどこに行っても直江兼続ブーム。そこにタイミングよく一冊の小冊子「直江兼続の素顔」が出版された。著者は遠藤 英（九里学園教諭）さんである。九里学園高校に籍を置かれる著者は、高校生でもわかる兼続の人柄を書きたい、との思いのもとにこの作品を仕上げたといわれる。もう一つ著者が狙いとしたことは、米沢での兼続の活躍に光を当てることであった。今まで兼続について書かれた本は多種あるが、それらは、武将としての彼が強調され、彼の人生が成熟する米沢時代が見えにくいとの思いからであった。

東北大学の史学科で学ばれた著者は、常に学びの姿勢旺盛で、特に郷土を愛するおもいが強い。九里学園高校の一般市民対象として実施されている土曜講座の「地域巡検」の講師としても参加者から好評をえているばかりでなく、大学時代に出会った「中国武術」の講師としても知られている。そのような著者が、長く温めていたテーマのひとつが、城下町米沢の基礎を築いた直江兼続であった。[A5判 55頁 定価500円] (遠藤岩根・記)

米沢有為会米沢支部だより

NHK大河ドラマで「直江兼続」が主役に

①

米沢支部副支部長 曽根伸良

上杉の知将「直江兼続」が、二十一年のNHK大河ドラマで取り上げられることになりました。

米沢市と山形県では昨年十月、「天地人推進委員会」を立ち上げ、放映に向け様々なPRや市民講座を開催しています。そこで、今号と次号で「直江兼続」を顕彰していきます。

直江兼続を名将たらしめた二人

直江兼続は名将と言われるすぐれた人物でしたが、決して彼単独の力であれだけの事跡を挙げ得たではありません。彼を歴史の舞台に押し上げてくれた人、彼を陰で支えてくれた人は少なくとも二人います。一人は兼続の主君上杉景勝、もう一人は兼続の夫人お船の方です。

直江兼続の主君上杉景勝

直江兼続は陪臣（大名の家臣）です。陪臣の身でありながら、あの戦乱の世に、豊臣秀吉をはじめ

多くの大名に一目も二目も置かれる人物として、上杉家のために数々の事跡を成し遂げ得たのは、主君上杉景勝が彼に終始絶大な信頼を寄せ、彼の能力、識見を高く評価して、存分に力を發揮させてくれたからに外なりません。景勝は地味な人柄で、父謙信（景勝は謙信の養子）のようなカリスマ性もなく、大衆受けのする華やかさもありませんでした。しかし、兼続との関係だけを考えても、いかに懐が深く、度量が大きかったかがわかるというものです。

兼続は、上田の坂戸城（景勝の実父長尾政景の居城）に仕えています。六歳の時に景勝の側近く仕えまし

実像に近い？



紙本淡彩墨画・米沢市上杉博物館

上半身のみで首を傾げず、束帶に直江家の家紋が描かれるなどの違いはありますが、杓を持つ衣冠姿である点など、『集古十種』に収められた直江兼続の肖像画を手本にして描かれたとみられます。制作に関する具体的情報は不明です。

（上杉博物館図録より）

た。景勝は兼続の将来大器となる人物であることを見抜き、次第に重用していきました。そして、謙信以来の名家であり、代々奉行（執政のこと）の家柄である直江景勝は兼続をその後嗣として入家。景勝は兼続をそのままの後嗣として入れ、名実ともに景勝の股肱の臣として、そして上杉家の宰相として、内外の諸問題を取り仕切らせたのです。

それでは、景勝という人は何で本上杉謙信」と言っています。お船の方については次号に記載

かつたのか。決してそんなことはありません。彼が二三歳の時父謙信が急死するや、直ちにライバル景虎の機先を制して「御館の乱」を勝ち抜き、謙信後継者の座を自らの手でもぎ取ったことを始め、「本能寺の変」での織田信長の死後、慎重に時勢を読み取って豊臣秀吉の麾下に入り、越後、庄内、佐渡、信濃四郡の統一を成し遂げたこと。秀吉亡き後、露骨に天下を狙う徳川家康の横暴に屈せず、断然戦いを挑もうとしたことなど、重要な局面での決定はすべて、一国の領主たる景勝自らの判断と決断によるものです。

上杉謙信と上杉景勝のすぐれた研究者である新潟大学の矢田俊文教授は、「謙信は地方の権力者ではあつたが、その子景勝は天下の政治を動かす人物であった。」（『定本上杉謙信』）と言っています。

米沢有為会米沢支部だより

リレー隨想 (3)



米沢支部副支部長 高橋 勉

山形興譲館寮生活記

山形に興譲館寮があつたこと
はあまり知られていない。それは昭和三十年代にわざか十年間
は昭和三十年代にわざか十年間
は昭和三十年代にわざか十年間
程しか開設されていなかつたからである。それも元・開業医の病室を改造した建物で二十人程度の小規模の寮であつた。

先ず入寮して目を見張ったのは、高校時代机を並べた同級生達が古参の寮生然として貴様を示していることの変わりようであった。

当時まだ食糧不足の時代、寮の食事では不十分で常に空腹感を満たす努力をしていた。寮生の多くは、夜の九時頃になると近くの行き付けの中華そば店へ誘い合って三々五々通つていたが、苦学生の私にはそれもできず、開店間際の馴じみの食料店から、玉うどんと天ぶらを安く買って部屋で煮込みうどんして空腹を満たすことを常としていた。

山形に興譲館寮があつたこと
はあまり知られていない。それは昭和三十年代にわざか十年間
は昭和三十年代にわざか十年間
は昭和三十年代にわざか十年間
程しか開設されていなかつたからである。それも元・開業医の病室を改造した建物で二十人程度の小規模の寮であつた。

先ず入寮して目を見張ったのは、高校時代机を並べた同級生達が古参の寮生然として貴様を示していることの変わりようであった。

当時まだ食糧不足の時代、寮の食事では不十分で常に空腹感を満たす努力をしていた。寮生の多くは、夜の九時頃になると近くの行き付けの中華そば店へ誘い合って三々五々通つていたが、苦学生の私にはそれもできず、開店間際の馴じみの食料店から、玉うどんと天ぶらを安く買って部屋で煮込みうどんして空腹を満たすことを常としていた。

或る時、寮生の一人が、腹痛で病院へ行つたところ、血便がでたため赤痢の疑いですぐ隔離され、保健所から寮生全員の外出が禁止されて足止めの急報が入つた。外出禁止令がでて当分外出できないと思った私達は隣室の四人で二階の非常口からこつそり寮を抜け出し、夜の街でしばらくのシャバとの別れを惜しんで持ち金を使い果して帰還した。そして思い果した快感還した。そして思い果した快感

でいた翌日、入院中の寮生の血便は赤痢にあらず痔疾と判明し外出禁止令が解かれた。以後当分の間、四人は夜の外出ができるだけだった。

福島米沢間の
高速道路の進捗は!!

東北中央自動車道路の建設が始まつてからの状況をお知らせします。

平成二十年一月一日現在、避難坑（トンネル内で事故発生時に避難するための通路）を掘削中で、米沢側七九パーセント、福島側五七パーセント、全体で六六パーセント（トンネルの長さ九・〇キロメートルのうち五・九キロメートル）進んでいます。

興譲館寮生活から丁度五年。青年時代の前期を一生懸命過ごした貴重な寮生活も、セビ色の思い出となつた。

ミーティング

大友久太郎氏に県産業賞

有為会本部産業賞
部長の大友久太郎
氏が山形県産業賞
を受賞しました。

大友氏は、昭和五十一年から、米沢商工会議所議員、常議員、副会頭を歴任し、平成七年から三期九年にわたり会頭を務め、地域産業界の発展に貢献しました。また、米沢地域のみならず、置賜地区商工団体協議会会長として、さらには、山形県商工会議所連合会副会長として、置賜地域や県産業界全体の振興・発展に貢献されました。

大友氏は、昭和五十一年から、米沢商工会議所議員、常議員、副会頭を歴任し、平成七年から三期九年にわたり会頭を務め、地域産業界の発展に貢献しました。また、米沢地域のみならず、置賜地区商工団体協議会会長として、さらには、山形県商工会議所連合会副会長として、置賜地域や県産業界全体の振興・発展に貢献されました。

梓山上組獅子踊

国立劇場で公演

来る三月一日㈯、東京都国立劇場で山形・出羽の芸能として

村山・最上・置賜・庄内の各地から民俗芸能団体が公演します。

置賜の代表として梓山上組獅子踊が招待され、午後二時三十分に公演、演目は梵天舞を予定しています。

国立劇場の企画で小劇場での民俗芸能の公演の他、二階食堂では物産展を行い、ロビーには観光情報スペースを設けるなど、「山形」一色に彩り、山形県に関する情報発信に資するものです。

国立劇場の企画で小劇場での民俗芸能の公演の他、二階食堂では物産展を行い、ロビーには観光情報スペースを設けるなど、「山形」一色に彩り、山形県に関する情報発信に資するものです。

一年度からの予定で完成まで約十年を要することです。

下條邦彦
参事 高橋章、本間浩、赤木義信
〔組織部〕部長 本多和彦
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
〔教育部〕部長 佐藤政一
参事 加藤義彦
部員 高橋勉、小林栄、後藤浩、高橋英機、小林伸也、江川栄助、上村勘二、伊藤和夫、野本弘、渡部秀丈、戸田直博

〔文化広報部〕部長 山宮光雄
部員 石田一郎、鈴木秀男、江川栄助、山口弘子
参事 伊藤秀一
〔産業部〕部長 柴田孝
部員 大友久太郎、柴田正孝、塙田昌伸、青木敏美、工藤亮介、田村憲一
参事 伊藤秀一
〔総務部〕部長 佐藤政一
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
参事 加藤義彦
〔秘書部〕部長 佐藤政一
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
参事 加藤義彦
〔組織部〕部長 本多和彦
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
参事 加藤義彦
〔教育部〕部長 佐藤政一
参事 加藤義彦
部員 高橋勉、小林栄、後藤浩、高橋英機、小林伸也、江川栄助、上村勘二、伊藤和夫、野本弘、渡部秀丈、戸田直博

▼米沢はどこへ行つても「直江兼続」の話でもちきり。支部だよりの編集会議でも、兼続を載せるかどうか、どう取り上げるかなど話題が尽きず、会議も長時間に及ぶ。結局、このようない形での掲載になつた。それでも「東の関が原合戦」（草籠原の戦い）が実現していたならば、日本はどう変わつていたんだろうか。

▼米沢はどこへ行つても「直江兼続」の話でもちきり。支部だよりの編集会議でも、兼続を載せるかどうか、どう取り上げるかなど話題が尽きず、会議も長時間に及ぶ。結局、このようない形での掲載になつた。それでも「東の関が原合戦」（草籠原の戦い）が実現していたならば、日本はどう変わつていたんだろうか。

編集後記



梵天舞は京都の紫宸殿や日光東照宮の造営に際し地固踊を奉納したとの由来があります。梵天を持って四方を清める尊厳な踊です。

支部の構成

〔総務部〕部長 鈴木幸一
部員 小林圭一、手塚修、小林伸一、遠藤善則、山口昇一、

〔文化広報部〕部長 山宮光雄
部員 石田一郎、鈴木秀男、江川栄助、山口弘子
参事 宮本秀行、米浩二
〔組織部〕部長 佐藤政一
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
参事 加藤義彦
〔教育部〕部長 佐藤政一
参事 加藤義彦
〔秘書部〕部長 佐藤政一
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
参事 加藤義彦
〔組織部〕部長 本多和彦
部員 高橋丈夫、手塚修、山木勇一郎、遠藤善之、加藤真琴、山上了史
参事 加藤義彦
〔教育部〕部長 佐藤政一
参事 加藤義彦
部員 高橋勉、小林栄、後藤浩、高橋英機、小林伸也、江川栄助、上村勘二、伊藤和夫、野本弘、渡部秀丈、戸田直博